

ナタリー・デセイ (ソプラノ) か フィリップ・カサール (ピアノ)

わたちの生きざまの
忘れえぬモザイク模様

モーツァルト:

歌劇「フィガロの結婚」

“早くおいで、美しい喜びよ” <スザンナのレチタティーヴォとアリア>

“失くしてしまった、どうしよう” <バルバリーナのカヴァティーナ>

コンサート・アリア “どうしてあなたを忘れよう〜恐れることはないわ、いとしいひと”

歌劇「フィガロの結婚」

“愛の神よ、照覧あれ” <伯爵夫人のアリア>

“美しい思い出よ、どこへ” <伯爵夫人のアリア>

歌劇「魔笛」 “愛の喜びは露と消え” <パミーナのアリア>

MOZART:

Le nozze di Figaro, « Giunse alfin il momento - Deh vieni non tardar » (Susanna's aria)

Le nozze di Figaro, « L'ho perduta me meschina » (Barbarina's cavatina)

Concert aria « Ch'io mi scordi di te » K.505

Le nozze di Figaro, « Porgi, amor » (Contessa's aria)

Le nozze di Figaro, « Dove sono » (Contessa's aria)

Die Zauberflöte, « Ach, ich fühl's » (Pamina's aria)

ショーソン: 「終わりなき歌」

CHAUSSON: La Chanson perpétuelle

プーランク: 「モンテカルロの女」 (詩: ジャン・コクトー)

POULENC: La Dame de Monte Carlo (text by Jean Cocteau)

ドビュッシー:

歌劇「ペレアスとメリザンド」 “私の長い髪が” <メリザンドのソロ>

DEBUSSY: Pelléas et Mélisande, « Mes longs cheveux » (Mélisande)

マスネ:

エレジー (ピアノ・ソロ)

歌劇「ル・シッド」 “泣け、泣け、わが目” <シメヌのアリア>

MASSENET:

Élégie, for piano

Le Cid, « Pleurez mes yeux » (Chimène's aria)

グノー:

歌劇「ファウスト」

“なんと美しいこの姿 (宝石の歌)” <マルグリートのアリア>

GOUNOD: Faust, « Ah, je ris de me voir si belle » (Marguerite's aria)

Natalie Dessay (soprano)

Philippe Cassard (piano)

Duo Recital
《Women's Words》

2022 11/9 日(水) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール 京王新線「初台駅」
18:00開場/21:00終演予定 7:00p.m., Wednesday, November 9, 2022 at Tokyo Opera City Concert Hall 東口(直結)徒歩5分

¥15,000 A¥12,000 B¥10,000 C¥6,000 ※料金には消費税が含まれております。 ※特別料金につきましては裏面をご覧ください。

8月20日(土) 10:00 前売開始 ジャパン・アーツぴあオンラインチケット: 8月17日(水) ※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

お申し込み ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999
チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 221-851] イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 33254]

主催: ジャパン・アーツ
共催: 公益財団法人 東京オペラシティ 文化財団
後援: 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本
協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル



25th
Anniversary
Tokyo Opera City
Concert Hall / Recital Hall



文化庁 子供文化芸術活動支援事業

デセイ&カサール 2022年来日に寄せて

岸 純信 (オペラ研究家)

今から18年前、「人の心が震える瞬間」を目の当たりにした。ナタリー・デセイ初来日の折、名バリトン、トーマス・ハンブソンからのコメントを、彼女にその通り伝えた時のことである。

「最も偉大なソプラノ。心からそう思う」

するとデセイは、顔を赤らめた。「ああ、ハンブソンさんはお優しいわ」。

彼女にとって舞台とは、常に「新しいものを提案する場」である。パリで共演したハンブソンも、デセイが毎回、人一倍のチャレンジ精神を発揮し、様々に可能性を探る姿勢に驚嘆。そこで彼は、やおら背筋を伸ばしてその感動を筆者に吐露し、その言葉を聞いたデセイも、素朴なひとりで感謝の心を表した。彼女が肩を震わせた一瞬は、今も

目に焼きついている。

拘束時間が長いからと、オペラの現場は離れたデセイだが、それでも「人物像を作り上げるチャンス」は手放したくないよう。今回の来日でも、モーツァルト《フィガロの結婚》のソプラノ3役それぞれに新しい命を吹き込み、ドビュッシー《ペレアスとメリザンド》のソロでは神秘性を体現。グノー《ファウスト》の〈宝石の歌〉といった「自分の若さに酔う娘心」から、プーランクの歌曲〈モンテカルロの女〉における「人生の最期に直面する老女のやるせなさ」まで、練達のピアニスト、フィリップ・カサールの支えのもと、どれも活き活きと表現することだろう。

なお、曲目に一つ、驚きのアリアが存在する。それがマスネ《ル・シッド》の〈泣け、泣け、わが目〉。太く豊かな声を持つ「メゾ寄りのソプラノ」のレパートリーに、歌唱史上最も繊細な声音が挑むとは。でも「それも私の新境地！」とデセイは微笑むのだろう。11月のステージが本当に待ち遠しい。



ナタリー・デセイ
(ソプラノ)
Natalie Dessay (Soprano)

© Simon Fowler / Erato



フィリップ・カサール
(ピアノ)
Philippe Cassard (Piano)

© Jean-Baptiste Millot

キャリアを始めたころより、世界の最も重要な舞台で歌っている。ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ロイヤル・オペラハウス、パリ・オペラ座などに定期的に出演。フランス・オペラも得意とし、ラクメ、オランピア、ジュリエットにマノンなどを演じて来た。また、《夢遊病の女》、《ランメルモールのルチア》などのベル・カントのレパートリーではゲルギエフの指揮で録音も行っている。《椿姫》を東京、エクサンプロヴァンス音楽祭、ウィーン国立歌劇場、そしてメトロポリタン歌劇場で歌い、いずれも大成功を収めている。指揮者エマニュエル・アイムとはヘンデルにも取り組み、パリ・オペラ座で《ジュリオ・チェーザレ》にクレオパトラ役で出演。リサイタルでデュオを組んでいるフィリップ・カサールとは2012年以来、カーネギー・ホール、ロンドンのパーピカン・センター、サントリーホール、ウィーンの楽友協会など、約60回のコンサートを行っている。カサールとは「ドビュッシー歌曲集〜月の光」(エラート)など3つのCDをリリースした。デセイは、ウィーン国立歌劇場より「宮廷歌手」の称号を授与されている。近年、演劇にも出演しており、2018年7月にはアヴィニョン演劇祭に登場、また、モンパルナス劇場でシュテファン・ツヴァイク作品の「La Légende d'une vie (ある人生の伝説)」に出演した。

1985年パリでのクリスタル・ルートヴィヒとのジョイント・リサイタルを行って以来、フィリップ・カサールは協奏曲のソリスト、リサイタル演奏者、室内演奏者として国際的な名声を確立している。88年にはダブリン国際ピアノ・コンクールで1位に輝いた。これまでにロンドン・フィルハーモニック、バーミンガム市交響楽団、フランス国立管弦楽団等と協奏曲で共演。N.マリナー、C.デュトワ、M.ヤノフスキ等多数の指揮者と共演している。2012年にはナタリー・デセイの専属ピアニストとなり、共にフランス、イギリス、日本、ロシア、オーストリアそしてアメリカなどで演奏している。さらにデュオとしてドビュッシーの歌曲集2作(エラート)と、シューベルトの歌曲集(ソニー・クラシカル)を録音した。カサールは、2005年よりフランス・ミュージック・ラジオにて、ピアノ専門のラジオ番組のプレゼンターを務め、週1回、600回以上の放送を行っている。最近リリースしたCDには、オーケストラとの共演によるフォーレのバラードと幻想曲や、メンデルスゾーン・ソロ・リサイタル(ソニー・クラシカル)の録音がある。

<2022年日本公演全国スケジュール>

11/6(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール
間)中京テレビクリエーション
TEL: 052-588-4477

Twitterでフォローする
@japan_arts

<特別割引チケットのお知らせ>

- ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付
- ◎シニア・チケット: 65歳以上の方は\$¥14,000・A¥11,000にてお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付。)
- ◎文化庁子供文化芸術活動支援事業 18歳以下無料
対象: 公演当日、小学校1年生~18歳以下
申込方法等詳細はジャパン・アーツホームページをご覧ください。

<次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください。>

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。

ナタリー・デセイの名盤@ソニー・クラシカル

Sony Music Japan International

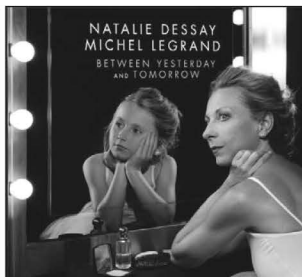


ナタリー・デセイ シューベルト: 歌曲集



長い年月を経てデセイが
ついに辿りついたシューベルト。
万感の思いがこもる究極の「うた」。
愛の使い/ギリシャの神々/魔王/ミニョ
ンの歌/ガニユメート/憩いのない愛/
岩の上の羊飼ひ ほか14曲
[録音] 2016年11月28日~12月3日 ベルリン、
ゾームスヴィラ
絶賛発売中
定価 ¥3,056(税込) CD ● SICC 30424

ナタリー・デセイ & ミシェル・ルグラン ビトゥーイン・イエスタデイ・アンド・トゥモロウ



ミシェル・ルグランとの最後の共演盤!
「ある普通の女性の素晴らしい人生」を
美しく綴る、ルグラン畢生の大作!
[演奏] ナタリー・デセイ(ヴォーカル)
ミシェル・ルグラン指揮
ロンドン・スタジオ・オーケストラ
[録音] 2016年9月28日~30日 ロンドン、エア・スタジオ
絶賛発売中
定価 ¥2,750(税込) CD ● SIPC 31134